

平成29年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立敷島小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部分」であることをご理解ください。

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語、算数ともに「知識」をみるA問題の方が、「活用」の力をみるB問題よりも正答率が高いです。
- ・国語の平均正答率はA問題では全国と同程度であり、一定の定着がみられます。特に「言語についての知識・理解・技能」では高い定着があり、普段の取組の成果が表れています。一方でB問題では全国をやや下まわっています。「読むこと」については物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめることに課題がみられます。
- ・算数の平均正答率はA、Bともに全国よりもやや低いです。特に「数量関係」（平均、割合、二次元表など）についての知識や理解の定着に課題がみられます。
- ・両教科ともに個人差が出てきていることがうかがえます。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

よい傾向がみとめられる項目

- ・「将来の夢や目標を持っていますか」「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか」「学校で友達に会うのは楽しいと思いますか」に高い数値がみられました。
- ・「普段（月曜日から金曜日）学校の授業時間以外に1日当たり30分以上の読書をする」「国語の勉強は好きです」とした児童の割合が全国に比べて高いです。よく本を読み、学校等の図書館をよく利用していることがうかがえます。

課題となる項目

- ・「学校の授業時間以外に、普段、1日当たり1時間以上勉強する」とした児童の割合が低いです。「普段、1日当たり2時間以上テレビゲームをする」「普段、1日当たり30分以上携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする」とした児童の割合が全国に比べて高いです。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

◆学習環境を整え、学ぶ心を育てます。

- ・聞く・話す等の学習規律を整え、児童が集中して、授業に取り組める環境を整えます。
- ・道徳の授業や学級・学校の行事等を通して、自分のことや人との関わりについて考え、自己肯定感やソーシャルスキルを育てます。

◆考える力、表現する力を育てます。

- ・朝学習の時間を活用して、算数・国語の問題に取り組み、基礎学力を養います。
- ・「自分の考えや思いを伝え合う活動」を取り入れた授業を展開し、「話す・聞く・考える」力をつけます。
- ・ノート指導を充実し、「理由や根拠を明らかにして自分の考えを書き、発表する」活動をしていきます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・「家庭学習の手引き」を活用し、児童が自ら学習に取り組めるよう声をかけてあげてください。
- ・ゲームやテレビ、スマホ等のルールを決めて守らせましょう。
- ・親子でいろいろな本を読んだり、地域の図書館等を利用したりして、児童の興味・関心を広げてあげてください。

